

令和2年度 ひたちなか市立勝倉小学校 グランドデザイン

＜茨城県の教育目標＞

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

いばらき教育プラン

- 【基本テーマ】
一人一人が輝く教育立県を目指して
- 【サブテーマ】
～子どもたちの自主性・自立性を育もう～

校訓

- 健康 (すこやかに)
- 礼儀 (きちんと)
- 友愛 (なかよく)
- 責任 (まじめに)

＜ひたちなか市の教育目標＞

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかいます
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養います
- 家庭や地域と力をあわせ豊かな心を育みます
- ふるさとを愛し協力し合う心を育てます
- 世界に視野を広げ国際人としての自覚を高めます

学校教育目標

自ら学び 心豊かで
たくましく生きる
児童の育成

市学校教育推進のためのキーワード
夢 感動 笑顔

学校経営の基本方針

- 創意工夫した教育課程を展開し、児童一人一人が輝き、自ら考え進んで行動できる児童の育成を推進する。(生きる力の育成)
- 教職員一人一人の資質・能力の向上と組織の活性化を図り、勤務することに誇りと喜びを実感できる学校づくりを推進する。(学校の活性化)
- 学校・家庭・地域との連携・協力を密にし、信頼と活力に満ちた開かれた学校づくりを推進する。(信頼関係の構築)

求める学校像

- わかる、できる、使える授業で、学力を向上させる学校
- 活気(やる気)のある活動を通して、豊かな心を育てる学校
- たくましい身体を育成する学校
- 地域や保護者から信頼される開かれた学校

求める児童像

- 心も体もすこやかで明るい子ども
- きまりを守り、あいさつができ、感謝の気持ちを表す子ども
- 思いやりの心を持ち、仲良く協力し、よいことを進んでする子ども
- よく勉強し、自分の役割を果たす子ども

求める教師像

- 一人一人を見つめる目をもつ教師 (感性)
- 一人一人を支える広い心をもつ教師 (心)
- 研修に努め自ら向上しようとする教師 (自己研鑽)
- 保護者や地域から信頼される教師 (信頼感)

今年度のスローガン

「一人一人のよさをつなげて 魅力ある学校をつくろう」

＜児童に育成したい資質・能力＞

- ① コミュニケーション力
- ② 論理的思考力
- ③ 協働性
- ④ 知識・情報活用能力
- ⑤ 自己肯定感
- ⑥ 粘り強さ

＜共有化＞

- 「学び合う」イメージの共有化
- 「資質・能力」が身に付いた子どもの姿の共有化

【組織目標】

～ 一人一人と進んでかわり合う ～
【キーワード】
～ 聴く、認める、つなげる ～

あひるの約束

- ・ 元気なあいさつ
- ・ ひとの話を聞く
- ・ ルールを守る

居場所づくり・絆づくり

- ・ 心に響く授業づくり
- ・ 感動が得られる行事
- ・ 親和的な学級集団づくり

学習指導の充実

- ◎ 自ら学ぶ児童の育成に向けて
 - 主体的・対話的で深い学びへの授業改善
 - ・ 学習課題や学習過程、学習形態の工夫
 - ・ まとめと振り返りの充実
 - ・ 自分の考えの再構築
 - 基礎的基本的な内容の確実な定着
 - ・ 個に応じた授業の展開
 - ・ ICT活用の工夫・改善
 - 学習習慣の確立
 - ・ 学習規律の徹底
 - ・ 学年に応じた家庭学習の習慣化

心の教育の充実

- ◎ 心豊かな児童の育成に向けて
 - 集団づくり(居場所・絆)
 - ・ 一人一人を大事にするレレシヨンづくり
 - ・ 教育相談・定期的な支援会議の実施
 - 道徳的実践力の育成
 - ・ 規範意識、思いやりの心の育成
 - あいさつ運動の実施
 - 読書活動の充実
 - ・ 朝読書の実施と読書環境の整備
 - 特別支援教育の推進
 - ・ 個に応じた支援、関係機関との連携

健康・安全教育の充実

- ◎ 心身ともにたくましい児童の育成に向けて
 - 運動の習慣化と体力づくり
 - ・ 体育の授業の改善
 - ・ 業間運動や各種検定の活用
 - ・ 体育的行事の工夫
 - 安心・安全な学校づくり
 - ・ 安全点検の充実
 - ・ 多様な想定による避難訓練の実施
 - 望ましい食習慣の形成
 - ・ 食に関する指導の充実
 - ・ 規律ある給食の時間の徹底

教職員の資質・能力の向上

- 学力の三重構造を意識した授業の展開
 - ・ 研修及び授業研究の充実 (ICTを含む)
 - ・ 一人一回の授業研究と相互参観の実施
- コンプライアンス研修の充実
- 教員評価制度の活用、充実 (人財育成)

マニフェスト

- ・ 漢字力・計算力テストの合格者数 85%以上
- ・ コミュニティゲストの活用 各学年4回以上
- ・ 自分から進んで挨拶ができる児童 全児童の85%以上
- ・ 年間50冊以上の読書(300冊) 全児童の80%以上(10名)
- ・ 朝食を食べて登校する児童 全児童の85%以上
- ・ 体力テストA+B 学校全体55%以上

働き方改革

- 会議の効率的運営 (1時間以内)
- 共有フォルダーの活用
- マイリフレッシュデーの設定と実践
- 校務分掌の見直し
- タイムカードの活用

地域に開かれた信頼される学校

- 積極的な情報公開(ホームページ等)
- 地域人材の活用
- 保幼小中の連携・接続(年間5回以上)
- 校内ネットワークの活用
- 学校評価(PDCA)を生かした運営改善(授業参観出席率 学校全体90%以上)